

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。
 検鏡の結果、赤潮原因プランクトンであるコクロディニウム・ポリクリコイデスが最大0.08細胞/ml、および麻痺性貝毒原因プランクトンであるアレキサンドリウム属が最大0.04細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や水色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

※(本日の調査は、クロロフィル量が多い水深から採水し、海水100mlを1mlに濃縮したサンプルの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	採水水深	コクロディニウム ポリクリコイデス	アレキサンドリウム属
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)	(m)	(細胞/ml)	
藻津①(別図⑨) 採水時間 9:05 透明度 -	0.0	19.6	34.1	7.3	7	0	0.04
	5.0	19.6	34.1	7.3			
	10.0	19.5	34.2	7.2			
大島中央①(別図⑤) 採水時間 9:10 透明度 -	0.0	19.7	34.2	7.4	7	0.08	0
	5.0	19.7	34.2	7.4			
	10.0	19.5	34.3	7.5			
小筑紫中央①(別図⑬) 採水時間 9:16 透明度 -	0.0	19.7	34.3	7.5	9	0	0
	5.0	19.7	34.3	7.5			
	10.0	19.7	34.3	7.5			
栄喜奥(別図②) 採水時間 9:37 透明度 -	0.0	20.1	29.2	6.9	9	0	0.02
	5.0	19.6	34.3	7.5			
	10.0	19.6	34.3	7.6			
青瀬山(別図③) 採水時間 9:41 透明度 -	0.0	20.6	30.6	6.1	8	0	0.04
	5.0	19.7	34.3	7.6			
	10.0	19.5	34.3	7.7			
弘浦②(別図①) 採水時間 9:51 透明度 -	0.0	19.8	33.1	6.8	9	欠測	欠測
	5.0	19.5	34.3	7.1			
	10.0	19.3	34.3	7.3			